



校訓：自立・創造

<https://school.iga.ed.jp/uenominami-j/>

南中祭も成功裡に終え、2学期の中盤を人権学習や期末テスト、部活動の新人戦等に力を発揮してきました。県下では、インフルエンザ等の感染症も流行っており、学級や学年閉鎖もでてしていると聞いています。2学期も残すところ、あと1ヶ月となりましたが、引き続き、ご家庭の皆様のご協力のもと、気を緩めることなく毎日の健康管理と計画的な学習習慣を継続し、元気に学校生活を送っていきたいと思います。よろしくお願いします。

人権学習より

11月10日(月)1年生では出会い学習として反差別・

人権研究所みえの本江優子さんをお招きして、講演をしてい

ただきました。部落差別の現状や課題、自分にできることに

ついて考えることを通して、自分の言動や仲間関係について

見直しました。生徒の感想から、小学校の時の出会いからまた一歩成長した自分を発見で

きたり、この機会を通して素直に自分自身の差別性に気づいたりした生徒がいました。ま

た、気づいているけど気づかないふりをしている自分を自覚していて、差別をなくそうと

行動している人に対して失礼だし行動を変えて行きたいといった思いを持った生徒もいま

した。



11月13日(木)3年生では、同じく反差別・人権研究所

みえの松村元樹さんにお越しいただき、自分にとって、人権と

は何か、もう一度今までの学習を振り返り、個々に再定義す

るような時間となりました。世の中はマジョリティ(多数派)

にとって有利なしくみになっている上、

その特権に気づけていない自分がいた

と振り返りができたり、「結果の平等」を考えていくことが共に生

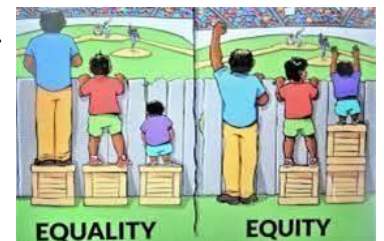
きる社会を築いていけるのではないかと考えることができました。

常に自分自身を更新し続けてくことが大切であり、周りで起こって

いる事へ関心を持つことが大切だという意見がありました。

私たち大人が子どもたちに胸を張っていられるよう、真摯に自身に向き合う自分でいた

いものだと感じました。



明石一郎 子育て教育・人権研究所より

防災教育支援プログラムを実施しました！

11月25日(火)三重県教育委員会の学校防災・危機管理班の方々にご協力いただき、各学年、2時間のHUG(避難所運営ゲーム)を行いました。昨今の自然災害等で避難生活を余儀なくされる事態になったとき、



中学生として地域に貢献できたりする機会もあるかもしれません。その一助となる学習となりました。



また、次回は、地震や火災の際の学校施設内での避難訓練を予定しています。

南中のつとめ&PTA人権講演会

11月27日(木)三重テレビより小川秀幸さんにお越しいただき、「ハンセン病問題のいま～私たちにできること～」と題してご講演いただきました。

保護者の皆様にもご参加いただき、共に考える機会となりました。ハンセン病患者、回復者、その家族に対する偏見や差別は、今なお存在していること、その差別を残しているのは他の誰でもなく、社会の一員である私たちであり、正しい理解を広げていくことや、関心を寄せることで差別をなくしていくことができるのではないかとお話しいただきました。



三重テレビで放送された番組の「～遺すことば～」は、三重県出身のハンセン病回復者の方を取材されており、それぞれの方の故郷への思いが胸にしみました。

今後の予定

- 12月2日(火) 部落問題を考える中学生のつとめ(午後)
- 3日(水) 4限授業後下校
- 4日(木) いのちの学習2年生
- 5日(金) 租税教室3年生 5限授業後下校
- 11日(木)～16日(火) 個別懇談会(午後)
- 18日(木) 新入生説明会 部活動なし
- 22日(月) 短縮3限 給食終了 部活動後下校
- 23日(火) 2学期終業式
- 24日(水)～1月7日(水) 冬季休業日